安全データシート



キット 製品名 キット カタログ番号 Variant II HbA2 /HbA1c Dual Prog Reorder Pack 2702500

改訂日 2021-10-08

構成品

カタログ番号	製品名
2700351, 2700352, 2700350	Whole Blood Primer
2200119	Calibrator Diluent
2702501	Variant II Dual Buffer 1
2702502	Variant II Dual Buffer 2
2702503	Variant II Dual Wash/Diluent
2702508	Variant II Dual Analytical Cartridge
2702505	Variant II Dual B-Thal Calibrator Level 1
2702506	Variant II Dual B-Thal Calibrator Level 2
2702512	Variant II Dual HbA1c Calibrator Level 1
2702513	Variant II Dual HbA1c Calibrator Level 2

ページ 1/70 KITJ / JP



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-08-27 改訂番号 2.2

化学品及び会社情報

製品名 プライマー

カタログ番号 2700351, 2700352, 2700350

商品コード 50399

安全データシート の供給者の詳細

日本法人/連絡先住所 本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Group 4000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 **USA**

バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

情報なし

危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

プライマー 改訂日 2021-08-27

保管

・該当しない

廃棄 該当しない

他の危険有害性

人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
Human Whole Blood	NO-CAS-22	50 - 100	情報なし		情報なし	
DL-ト レオニン	80-68-2	20 - 35	情報なし	(9)-1584	情報なし	(9)-1584
水	7732-18-5	1 - 2.5	情報なし	-	情報なし	
塩化ナトリウム	7647-14-5	0.3 - 0.999	情報なし	(1)-236	情報なし	7-(3)-1053 (1)-236
トブラマイシン	32986-56-4	0.01 - 0.099	情報なし		情報なし	8-(4)-280,8-(4)-374
ゲンタマイシン硫酸塩	1405-41-0	0.001 - 0.01	情報なし	(8)-457	情報なし	(8)-457
エチレンジアミン四酢酸二 ナトリウム	6381-92-6	< 0.001	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

プライマー 改訂日 2021-08-27

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う 者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。 封じ込め方法

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく露限界値

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 固体 物理状態 固体 色 赤色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 <u>値</u> データなし データなし -タなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし 爆発又は可燃の上限界 爆発又は可燃の下限界 データなし データななししてデータななしししし 引火点 蒸発速度 自然発火点 分解温度 рΗ

粘度 動粘性率 データなし データなし 動的粘度 水への溶解度 水に可溶

データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

粒径 データなし 粒径分布 データなし

備者 · 方法 情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

該当しない 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

なし。 静電放電に対する感度

なし。

機械的衝撃に対する感度

11. 有害性情報

急性毒性 分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口 LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水	> 90 mL/kg (Rat)	-	-
塩化ナトリウム	= 3 g/kg (Rat)	> 10 g/kg (Rabbit)	> 42 g/m³ (Rat) 1 h
トブラマイシン	> 7500 mg/kg (Rat)	-	-
ゲンタマイシン硫酸塩	> 5 g/kg (Rat)	-	-

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 生殖細胞変異原性

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。 プライマー 改訂日 2021-08-27

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

化学品の名称	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
塩化ナトリウム	=	LC50: 4747 - 7824mg/L (96h,	EC50: 340.7 - 469.2mg/L (48h,
		Oncorhynchus mykiss)	Daphnia magna)
		LC50: 5560 - 6080mg/L (96h,	EC50: =1000mg/L (48h, Daphnia
		Lepomis macrochirus)	măgna)
		LC50: 6020 - 7070mg/L (96h,	Ç .
		Pimephales promelas)	
		LC50: 6420 - 6700mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	
		LC50: =12946mg/L (96h, Lepomis	
		macrochirus)	
		LC50: =7050mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性. 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

該当しない 通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

消防法:

祝が 説当しない **化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法**) 該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-27

改訂記録 更新された安全データシート項目。2。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 TWA 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

公員事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-17

改訂番号 2

化学品及び会社情報

製品名 Calibrator Diluent

カタログ番号 2200119 CAS番号 7732-18-5

安全データシート の供給者の詳細

本社 日本法人/連絡先住所 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Group 4000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 **USA** バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

情報なし

危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

Calibrator Diluent 改訂日 2021-08-17

保管

・該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

CAS番号 7732-18-5

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

Calibrator Diluent 改訂日 2021-08-17

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

改訂日 2021-08-17 Calibrator Diluent

水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>備考 · 方法</u>

<u>6</u> 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 烈火点 蒸発速度 自然発火点 データなし、データなし、データなし、 情報なし 情報なし 情報なし データなし 分解温度 情報なし рΗ 情報なし

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水への溶解度 水と 混和

データなし データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値)

蒸気圧 データなし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 相対ガス密度 データなし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

通常の条件下で安定。 化学的安定性

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。 アジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと 反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

Calibrator Diluent 改訂日 2021-08-17

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性。分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

改訂日 2021-08-17 Calibrator Diluent

13. 廃棄上の注意

アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してください。 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄するこ 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない **労働安全衛生法** 該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と

労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-17

改訂記録 更新された安全データシート項目。1。2。3。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ぱく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)

天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ 源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

改訂日 2021-08-17 Calibrator Diluent

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有害性物員アーダベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項

である Total Action 1 を Property (1995) この Total Action 2 で Action 2 Property (1995) この Total Action 2 Prope

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-08-27 **改訂番号** 2.1

化学品及び会社情報

製品名 Variant II Dual Buffer 1

カタログ番号 2702501

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive 東京都品川区東品川2-2-24 Group

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F **USA** Hercules, California 94547

バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

該当しない 保管

該当しない 廃棄

該当しない

<u>他の危険有害性</u>

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
水	7732-18-5	50 - 100	情報なし	-	情報なし	

Variant II Dual Buffer 1 改訂日 2021-08-27

リン酸ナトリウム、一水和物	10049-21-5	0.3 - 0.999	情報なし		情報なし	
リン酸水素ナトリウム	7558-79-4	0.1 - 0.299	情報なし	(1)-497	情報なし	(1)-497
2 - [ビス(2 -ヒドロキシ エチル)アミノ] - 2 -(ヒド ロキシメチル)プロパン -1,3 -ジオール	6976-37-0	0.01 - 0.099	情報なし		情報なし	2-(8)-812
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.01 - 0.099	情報なし	(1)-482	情報なし	(1)-482

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法 通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する 眼に入った場合

ه ع ت

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

化学品の名称日本産業衛生学会労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度ACGIH TLVアジ化ナトリウム
26628-22-8--Ceiling: 0.29 mg/m³ Sodium azide
Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid
vapor

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観情報なし物理状態液体色無色臭い無臭

 Variant II Dual Buffer 1 改訂日 2021-08-27

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性_____ 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 データなし 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 分解温度 データなし 情報なし

-タなし

Hg

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度 データなし データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。フジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>_

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水	> 90 mL/kg (Rat)	-	-
リン酸水素ナトリウム	= 17 g/kg (Rat)	-	-
アジ化ナト リウム	= 27 mg/kg (Rat)	= 20 mg/kg (Rabbit) = 50 mg/kg (Rat)	-

症状 情報なし Variant II Dual Buffer 1 改訂日 2021-08-27

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

12. 環境影響情報

生態毒性

化学品の名称	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
アジ化ナトリウム	-	LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	-
		macrochirus)	
		LC50: =0.8mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =5.46mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流し

改訂日 2021-08-27 Variant II Dual Buffer 1

規制対象外

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 IATA

15. **適用法令**

国内規制

旦本

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-27

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録

い。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

MMR GH 女主候保護庁 EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質サータペース

国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全第2日の(NIOSH(米国労働安全第2日の(NIOSH))

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

Variant II Dual Buffer 1 改訂日 2021-08-27

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

<u>免責事項</u>

エ見予想 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-08-27 **改訂番号** 2.1

化学品及び会社情報

製品名 Variant II Dual Buffer 2

カタログ番号 2702502

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive 東京都品川区東品川2-2-24 Group

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F **USA** Hercules, California 94547

バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

・該当しない

応急措置

該当しない 保管

該当しない

廃棄

該当しない

<u>他の危険有害性</u>

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
水	7732-18-5	50 - 100	情報なし	-	情報なし	

Variant II Dual Buffer 2 改訂日 2021-08-27

リン酸ナトリウム、一水和物	10049-21-5	0.3 - 0.999	情報なし		情報なし	
リン酸水素ナトリウム	7558-79-4	0.3 - 0.999	情報なし	(1)-497	情報なし	(1)-497
2 - [ビス(2 -ヒドロキシ エチル)アミノ] - 2 -(ヒド ロキシメチル)プロパン -1,3 -ジオール	6976-37-0	0.1 - 0.299	情報なし		情報なし	2-(8)-812
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.01 - 0.099	情報なし	(1)-482	情報なし	(1)-482

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法 通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する 眼に入った場合

ه ع ت

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく 露防止及び保護措置

許容濃度
この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アジ化ナトリ ウム	=	-	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide
26628-22-8			Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid
			vapor

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観情報なし物理状態液体色無色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

特性

<u>備考 ・方法</u>

Variant II Dual Buffer 2 改訂日 2021-08-27

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性_____ 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 データなし 情報なし データなし、 蒸発速度 情報なし 自然発火点 分解温度 情報なし -タなし 情報なし

Hg 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度

データなし データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし

密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

金属との接触を避けてください。この製品にはアジ化ナトリウムが含まれています。フジ化ナトリウムは、配管システムに含まれる銅、真ちゅう、鉛、およびはんだと反応して、爆発性化合物および毒性ガスを生成するおそれがあります。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 金属。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>_

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口 LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水	> 90 mL/kg(Rat)	-	-
リン酸水素ナトリウム	= 17 g/kg (Rat)	-	-
アジ化ナトリ ウム	= 27 mg/kg (Rat)	= 20 mg/kg (Rabbit)	-
		= 50 mg/kg`(Rat)´	

症状 情報なし Variant II Dual Buffer 2 改訂日 2021-08-27

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

12. 環境影響情報

生態毒性

化学品の名称	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
アジ化ナトリウム	-	LC50: =0.7mg/L (96h, Lepomis	-
		macrochirus)	ļ.
		LC50: =0.8mg/L (96h,	
		Oncorhynchus mykiss)	
		LC50: =5.46mg/L (96h,	
		Pimephales promelas)	·

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 アジ化ナトリウムを含む溶液を金属性配管に廃棄する場合は、配管を頻繁に水で洗い流してください。

改訂日 2021-08-27 Variant II Dual Buffer 2

規制対象外

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 IATA

15. **適用法令**

国内規制

旦本

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

労働安全衛生法 該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-27

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録

い。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

MMR GH 女主候保護庁 EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質サータペース

国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全第2日の(NIOSH(米国労働安全第2日の(NIOSH))

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

Variant II Dual Buffer 2 改訂日 2021-08-27

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

<u>免責事項</u>

エ見予想 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



-ト は以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-08-20 改訂番号 1.1

化学品及び会社情報

製品名 Variant II Dual Wash/Diluent

カタログ番号 2702503 CAS**番号** 7732-18-5

安全データシート の供給者の詳細

本社 日本法人/連絡先住所 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Group 4000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 **USA** バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

情報なし

危険有害性の要約

7.4.吟帖士字性の始成でも 泪入物でも むい ロハレきツしかい

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でも	ない 区分に該当しない
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

Variant II Dual Wash/Diluent 改訂日 2021-08-20

保管

・該当しない 廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

CAS番号 7732-18-5

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

改訂日 2021-08-20 Variant II Dual Wash/Diluent

消火活動を行う者の特別な保護具及び消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人 用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してください。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

Variant II Dual Wash/Diluent 改訂日 2021-08-20

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

透明な液体 水溶液

物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>備考 · 方法</u>

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし

引火点 蒸発速度 自然発火点 データなし、データなし、データなし、 データなし 分解温度

рΗ 粘度

動粘性率 データなし データなし 動的粘度 水への溶解度 水と 混和

データなし データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧 データなし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 相対ガス密度 粒子特性 データなし

粒径 データなし データなし 粒径分布

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

通常のプロセスではない。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし Variant II Dual Wash/Diluent 改訂日 2021-08-20

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. 廃棄上の注意

Variant II Dual Wash/Diluent 改訂日 2021-08-20

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない 労働安全衛生法 該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と 労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水道法

水道法第4条、法定水質基準

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-20

改訂記録 −タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ この安全デ・

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

Variant II Dual Wash/Diluent 改訂日 2021-08-20

米国環境保護庁高生産量化学物質

不国現場保護月尚工産単化子物員 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 イーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項

である Total Action 1 を Property (1995) この Total Action 2 で Action 2 Property (1995) この Total Action 2 Prope

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-08-27 **改訂番号** 2.1

化学品及び会社情報

東京都品川区東品川2-2-24

製品名 Variant II Dual Analytical Cartridge

カタログ番号 2702508

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所 140-0002

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 1000 Alfred Nobel Drive Group

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F **USA** Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com 緊急連絡電話番号 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない 保管

該当しない 廃棄

該当しない

<u>他の危険有害性</u>

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
Methacrylate Resin	NO-CAS-24	50 - 100	情報なし		情報なし	

7732-18-5 1 - 2.5情報なし 情報なし

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく 露限界値

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

粘度

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

固体 物理状態 固体 色 白色 臭い かすかな 臭いのしきい値 情報なし

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性_____ データなし データなし 一タ なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし 引火点 ータなし

蒸発速度 自然発火点 -タなし ータなし 分解温度 На

備考 · 方法 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし 情報なし

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし水への溶解度水に不溶性

密度及び/又は比重データなし情報なし相対ガス密度データなし情報なし

その他の情報

爆発性 情報なし **酸化特性** 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
水	> 90 mL/kg (Rat)	-	-

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法 該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-08-27

改訂記録

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ い。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均) 皮膚兆候

天井値

最大限界值 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁、産邦教宝用、校園用、校園用法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

光見争場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 改訂日 2021-08-26 改訂番号 1.1

1. 化学品及び会社情報

東京都品川区東品川2-2-24

製品名 Variant II Dual B-Thal Calibrator Level 1

カタログ番号 2702505

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group 東京都品

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA パイオ・ラ 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
	区分に該当しない
	分類できない
	区分に該当しない
	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
	分類できない
	分類できない
誤えん有害性	分類できない
	分類できない
	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

·該当しない

応急措置

・該当しない

保管

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質。混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ

ています。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 これが この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 サイド シールド 付き 保護眼鏡(またはゴーグル)を 着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観顆粒物理状態固体色白色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

特性値備者・方法融点/凝固点データなし情報なし沸点、初留点及び沸騰範囲データなし情報なし可燃性データなし情報なし爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 データなし 情報なし データなし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし рН

 粘度
 動粘性率
 データなし
 情報なし

 動的粘度
 データなし
 情報なし

 水への溶解度
 水に不溶性

 溶解度
 ボータなし
 情報なし

 n ーオクタノール/水分配係数(log値)
 データなし
 情報なし

 素気圧
 データなし
 情報なし

 密度及び/又は比重
 村対密度
 データなし
 情報なし

 相対ガス密度
 データなし
 情報なし

 粒子特性
 特徴なし

その他の情報

爆発性 情報なし 情報なし 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(経口)** 29,819.30 mg/kg

症状情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触
この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 呼吸器、眼

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない **労働安全衛生法**

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-08-26 改訂日

改訂記録 この安全デ -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

不国現場保護月尚工産単化子物員 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 イーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項

である Total Action 1 を Property (1995) この Total Action 2 で Action 2 Property (1995) この Total Action 2 Prope

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-26

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

東京都品川区東品川2-2-24

製品名 Variant II Dual B-Thal Calibrator Level 2

カタログ番号 2702506

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group 東京都品

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 USA 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GH:	S 分	類

<u> </u>	
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない
	•

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

·該当しない

応急措置

・該当しない

保管

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質。混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ

ています。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 これが この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 サイド シールド 付き 保護眼鏡(またはゴーグル)を 着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観顆粒物理状態固体色白色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

 特性
 値
 備者・方法

 融点/凝固点
 データなし
 情報なし

 沸点、初留点及び沸騰範囲
 データなし
 情報なし

 可燃性
 データなし
 情報なし

 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
 「ボータな」
 情報なし

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 データなし 情報なし データなし データなし 蒸発速度 情報なし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし рН

情報なし

 粘度
 動粘性率
 データなし

 動的粘度
 データなし

 水への溶解度
 水に不溶性

溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 素気圧 データなし データなし

密度及び/又は比重データなし相対密度データなし相対ガス密度データなし

粒子特性 粒径 データなし **粒径分布** データなし

その他の情報 爆発性 情報なし

10: 安定性及び反応性

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

酸化特性

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(経口)** 29,819.30 mg/kg

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触
この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 呼吸器、眼

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない **労働安全衛生法**

該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-08-26 改訂日

改訂記録 この安全デ -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

不国現場保護月尚工産単化子物員 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 イーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項

である Total Action 1 を Property (1995) この Total Action 2 で Action 2 Property (1995) この Total Action 2 Prope

安全データシート のおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-26

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

東京都品川区東品川2-2-24

製品名 Variant II Dual HbA1c Calibrator Level 1

カタログ番号 2702512

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive Group 東京都品

Hercules, CA 94547 4000 Alfred Nobel Drive 天王洲セントラルタワー20F Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA パイオ・フ 株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

 diag_jp@bio-rad.com

 緊急連絡電話番号
 CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS	分類

<u> </u>	
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない
	•

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

·該当しない

応急措置

·<u>該</u>当しない

保管

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質。混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ

ています。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 これが この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

<u>保護具</u>

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 サイド シールド 付き 保護眼鏡(またはゴーグル)を 着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観顆粒物理状態固体色白色臭い無臭臭いのしきい値情報なし

 特性
 値

 融点/凝固点
 データなし

 沸点、初留点及び沸騰範囲
 データなし

 可燃性
 データなし

 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
 データなし

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 データなし 情報なし データなし 蒸発速度 情報なし 一タなし 自然発火点 情報なし データなし 分解温度 情報なし 情報なし рН

粘度動粘性率データなし動的粘度データなし水への溶解度水に不溶性

 溶解度
 データなし
 情報なし

 n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし
 情報なし

 蒸気圧
 データなし
 情報なし

 密度及び/又は比重

相対密度データなし情報なし相対ガス密度データなし情報なし粒子特性情報なし

並子特性 - **粒径** - ボータなし 該当しない - **粒径分布** ボータなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし **酸化特性** 情報なし

10: 安定性及び反応性

備考 · 方法 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

<u>急性毒性</u>

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(経口)** 29,819.30 mg/kg

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触
この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臓器影響 呼吸器、眼

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない **労働安全衛生法**

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-08-26 改訂日

改訂記録 この安全デ -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) 最大限界值 TWA 天井値 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

不国現場保護月尚工産単化子物員 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 イーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

免責事項

である Total Action 1 を Property (1995) この Total Action 2 で Action 2 Property (1995) この Total Action 2 Prope

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

分類できない

改訂日 2021-08-26

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 Variant II Dual HbA1c Calibrator Level 2

カタログ番号 2702513

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Diagnostic 140-0002 1000 Alfred Nobel Drive 東京都品川区東品川2-2-24 Group

4000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F **USA** Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ

USA 株式会社

0120-996598 テクニカルサービス diag_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Invitro実験用試薬又は成分マタセイブン。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

OUG A time	
GHS 分類	
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
上バ、屋・の大字性	ハギマキかい

<u>ラベル要素</u>

危険有害性情報

オゾン層への有害性

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない 保管

ページ 64 / 70

該当しない

廃棄

該当しない

<u>他の危険有害性</u>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれ

ています。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

5. 火災時の措置

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。 適切な消火剤

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人

用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

衛生対策 感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ

い。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 これが この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 サイド シールド 付き 保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観顆粒物理状態固体色白色臭いのしきい値無臭情報なし

特性 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性 塚発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし **爆発又は可燃の下限界** データなし **引火点** データなしし **蒸発速度** データなしし **分解温度** アータなし

粘度

動粘性率データなし動的粘度データなし水への溶解度水に不溶性溶解度データなしローオクタノール/水分配係数(log値)データなし

n ー**オクタノール/水分配係数(log値)** データなし **蒸気圧** データなし 密度及び/又は比重

 相対密度
 データなし

 相対ガス密度
 データなし

 粒子特性
 データなし

粒径 データなし **粒径分布** データなし

備考 · 方法

情報なし情報なし

情報報ななななななななななししししししししししし

情報なし 情報なし

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

該当しない 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 情報なし 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

11. 有害性情報

急性毒性

<u> 分類できな</u>い。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている **ATEmix(経口)** 29,819.30 mg/kg

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的臟器影響 呼吸器、眼

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない 労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-26

-タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録 この安全デ

い。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ 源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有害性物員アーダベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

である Total Action 1 を Property (1995) この Total Action 2 で Action 2 Property (1995) この Total Action 2 Prope

安全データシート のおわり